

## 新しいプログラムが決定しました！

バートーク

### 「まちづくりと土着」

— 福山をして徳島 地域に根付く建築家像 —

9月29日(金) 21:45～

場所：アンカー&ベイ

徳島市秋田町1-45 池田ビル2F

TEL：088-623-7768

福山市を拠点にインターローカルな活動を展開し全国的、世界的に注目を浴びる建築家・前田圭介氏と、徳島を拠点に行政や地域の人々と積極的に関わりながら東新町商店街やボードウォークなど徳島の中心市街地の主要なまちづくり、景観作りに大きく寄与してきた中川俊博氏。

お二人の活動のミニレクチャーの後、会場に集まる全国の建築家を交えながら、飲みながら、食べながら、「まちづくりと土着」に

ついて議論する会。徳島で毎月開催されている「アーキカフェ」の全国版。

会場はLive Bar「アンカー&ベイ」。料金は3,000円です（飲み放題+おつまみ少々）。参加しようかな～という方は、できるだけ事前にメール（uch@uchnet.net 内野宛）でお知らせください。詳しい場所などをお伝えします。

もちろん当日参加も大歓迎ですが、max35名です！！

〈講師プロフィール〉



前田圭介

建築家 UID 主宰

【経歴】

1974年 広島県福山市生まれ。

国土語大学工学部建築学科卒業後、工務店で現場に携わりながら設計活動を開始。

2003年、UID設立。現在、広島大学客員准教授、広島工業大学、福山市立大学、神戸芸術工科大学非常勤講師。

【主な受賞】

「アトリエ・ビスクドール」でARCASIA建築賞ゴールドメダル（ASIA）、第24回JIA新人賞、日本建築学会作品選奨。「Peanuts」で日事連建築賞国土交通大臣賞、こども環境学会賞デザイン賞。Design Vanguard 2014選出（USA）。「群峰の森/COSMIC」でAR House 2016 Winner（UK）など。



福山本通・船町アーケード改修プロジェクト  
—とおり町Street garden—

©Koji Fujii/Nacasa&Partners,Inc



中川俊博

建築家 中川建築デザイン室 代表

【経歴】

1956年 徳島県徳島市生まれ。

九州産業大学卒業。

建築設計をはじめ、街づくり、活性化イベント等の提案、さまざまな活動を行っている。

1987年 中川建築デザイン室設立

1995～1998年 しんまちボードウォーク（国交省都市景観大賞、まちづくり造形部門優秀賞）

1998年 旧TIO高原ビル（第8回徳島市まちづくりデザイン賞最優秀賞）

1998年 しんまちボードウォーク、パラス

ソルショップ提案（現しんまち

マルシェ）

2003年 複合商業施設WESTWEST

2008年 徳島LEDアートフェスティバル

提案

2009年 徳島青少年センター改修PFI事

業

2017年 れんまるカフェ



しんまちボードウォーク

## 徳島の魅力

前田圭介

徳島を初めて訪れたのは2010年の夏、アレックス・カーの『美しき日本の残像』を読み、平家一族の哀話を秘める、秘境“祖谷”にある麓庵で一晚を過ごした時である。何でもないことがこんなにも鮮烈に記憶に残り続けるのは何だろうか？ 例えば辿り着くまでの険しい道中、峡谷の山深い奥に入りカーナビなるもので着地点を見つけることができないとき、人間本来の持っている洞察力や勘といった本能が作動するからだろうか。ふと20年程前までは地図を片手にそのような本能を発揮しながら車を運転していたことに気づく。茅葺き民家がぼつんと佇む麓庵で、満天に輝く星空や行灯に群がる虫の音色を聞きながら息子と雑魚寝した夜、そして朝霧に包まれた静寂な夜明けなどなど…。山村地域で何百年以上も過ごしてきた先人たちと変わらない日常を体験したことに心から感動したからだろう。まさに現代で失われかけている日本の残像である。

私たちが普段目にしてる現代の都市や田舎の風景は、美しく愛着を持ち得ることができているのだろうか？ 我

が国がいかに土建国家として近代化を推進し突き進んできたか、普段見過ごしてきた真実の姿を考えさせられた。

時は過ぎて2017年秋、JIA建築家大会は阿波おどりの国・とくしま大会である。これに先立ちこの夏、徳島を拠点に活動されている内野輝明さんに案内いただき、人生初の阿波おどりに家族で参加。想像をはるかに超える楽しさに驚いた。二拍子の鳴り物に合わせた男踊りのウチワさばきから艶っぽい女踊りまで至るところで、踊りと音楽して溢れんばかりのひととひと。これはもう「～同じ阿呆なら踊らぬ損々!!」とばかりに、一緒に踊りながら目に見えない連帯感がなんとも心地よかった。翌日は鮎喰川での川遊びにご一緒し、これまた徳島の大自然溢れる豊かな環境に圧倒された。

私が訪れた徳島でのこれらの体験は、昔から脈々と続く徳島の魅力的なハレとケの姿である。このような計り知れないほどの宝は、気付いていないだけで既にそれぞれの地域に根差した中にあるはずだ。何でも無いようなモノコトの中にある大切な気づきを探し・持って帰られるような徳島の夜会に皆でしようや。